

【ヘブル人への手紙13章】

「わたしは決してあなたを離れず、また、
あなたを捨てない。」(ヘブル13:5)

16回目の白馬夏のキャンプが終わりました。大きな恵みと、神様が生きて働いておられることをこの目で見せて頂き、皆大きな霊的なお土産を持ち帰ったと感謝しています。

何より印象的だったのは、エシュルンちゃんの歌です。彼女は自閉症、多動症でどんなにか母親の心を切り刻むような日々を過ごされたことでしょうか。しかもそのお母様は離婚され、辛いところを通ってきた方です。

しかし、「神の言葉」はこの親子の人生を一変しました。「この娘に賛美を歌わせなさい。賛美を通して解放され癒される。」と。この言葉を直ぐ受けとったわけではありません。母親が、自分は歌が下手だし別れた夫も巧くはなかった。そんなことが・・・とと思っている時には何も起こらず、叫び走り回る娘に引きずり回されている日々だったそうです。しかしその言葉を握って祈り始め、行動を起こし始めた時から、みわざが現われ始めたのです。じっとしていられない為、飛行機に乗ってアメリカから来ることも大変、しかも人前でじっと立って歌うなんてとても無理、、、無理な事が重なる中で、一つ一つを感謝し、祈っていく時に、一つまた一つをクリアー...その戦いは想像を絶するほどだったと証しを通して教えられました。毎年賛美大会で歌うのを聞いて凄いつとて思っていました、今年は、まさに度肝を抜かれるような思いがしました。歌が今までとはレベルが違って素晴らしいのです。ただただ感動の涙が溢れ、こんなことをしてくださる神様だったら、何も不可能はない！！と思わず心の中で叫びました。

For nothing will be impossible with God!

「神にとって不可能なことは一つもありません。」(ルカ1:37)

キャンプで出会った方々との交わりの中で、皆、様々な問題を抱え、様々な戦いの中にいることを教えられました。終末が迫っている中で、ますます戦争、地震、洪水、熱波、経済危機、愛が冷えて不法がはびこり、この世の中には今までにない困難が押し寄せてきています。クリスチャンだからといってそのような問題が回避できるわけではありません。しかし、「それは神の栄光、祝福を表すためです。」と、キャンプ中に何度も語られました。つぶやいたり、諦めたりしないで、悔い改めるべきことは悔い改め、なおなお感謝して賛美して、神に近づく祈りましょう。信仰者としてたて上げられているのです。リバイバルです！

教会にいる事の守り、祈りあえる事の恵みを体験していきましょう。御言葉を捉えましょう。御言葉が我が行く道の光です。「わたしの口から出るわたしのことばも、むなしく、わたしのところに帰っては来ない。必ず、わたしの望む事を成し遂げ、わたしの言い送った事を成功させる。」(イザヤ55:11)御言葉はその通りになるのです。

白馬キャンプで大きな恵みを受けましたが、「つぶやく」ならば簡単にこの祝福を逃すのだと語られました。(Iコリント10:10) 放浪の旅をしているイスラエルの民が、紅海が割れる奇蹟、天からマナが降ってくる奇蹟を体験したにもかかわらず、つぶやいたため、祝福の地に入れませんでした。つぶやく代わりに感謝をして、神様の最善の祝福を受けてゆきましょう！

教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:D大重 勝裕

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2013.7.28 No.747

今年のみ言葉

天よ。耳を傾けよ。私は語ろう。
地よ。聞け。私の口のことばを。
私のおしえは、雨のように下り、
私のことばは、露のようにしたたる。
若草の上の小雨のように。
青草の上の夕立のように。

私が主の御名を告げ知らせるのだから、

栄光を私たちの神に帰せよ。

主は岩。主のみわざは完全。まことに、主の道はみな正しい。
主は真実の神で、偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。

申命記32:1~4



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>